

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	◎	美容室（経営者）	来客数の動き	・飲食店の時短営業や自粛要請が解除され、街に活気が出てきたと感じる。自由に行動できるようになると髪にも気を掛けるようになるため、来客数が増加し、忙しい状態となっている。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・ワクチン接種が高齢者しか進んでいないため、人出は週末のみ戻りつつあるという程度だが、自粛期間が終了したことで、繁華街の店舗が次々に営業を再開している。
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてきており、また、65歳以上のワクチン接種が始まったことが店頭売上の増加につながっている。
	○	百貨店（販売促進）	お客様の様子	・高齢者のワクチン接種が進み、客の来店意欲が徐々に出てきていると感じる。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・7月のピークの時期に向け、来客数が例年どおりに増加している。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、依然として街中の人出は少ないが、以前と比べると人が戻ってきているように感じる。また、売上についても底値から回復している。
	○	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・都市部の新型コロナウイルス新規感染者数がかかり減少している。バーゲンセールを境に6月後半から売上が盛り返しており、6月全体では例年と比べると微増という状況である。
	○	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・全車種併売化と新型車の発売効果で、好調に推移した前年を上回る受注数を獲得できている。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・父の日の前後に販売数が増加し、売上高が少し回復している。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・当地域は新型コロナウイルス新規感染者数が低水準であり、まん延防止等重点措置が解除されたため、客足が戻っている。
	○	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・一部地域でのまん延防止等重点措置の適用に伴い、来客数は依然として少ないが、インターネットによる予約は増加傾向にある。
	○	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・年度当初に設定した計画を大幅に上回る売上高となっている。
	○	通信会社（社員）	販売量の動き	・新規申込みの問合せが増加している。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・アルコール飲料提供店の時短営業は終了したが、その後も夕方は来街客の人出が非常に悪い日々が続いており、引き続き厳しい状況である。
	□	商店街（事務局長）	販売量の動き	・高齢者を中心にワクチン接種が進んでいるが、2回目の接種が完了するまでは外出自粛は継続すると思われる。また、変異株が出回っており、しばらくは慎重な行動を取る人が多いと予想する。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・飲食店の時短営業が終了しても客が戻ってこないため、業務用の納品は減少したままである。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・コロナ禍による活動の制限は徐々に緩和されているが、夜の外出については依然として厳しい状況である。一方、中食需要は増加したままであり、1人当たりの買上金額は高水準で推移している。
	□	コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除された後も人通りが戻っていない。繁華街以外の場所も夕方から夜間の間は来客数が減少したままである。
□	コンビニ（総務）	来客数の動き	・ワクチン接種が進み始めているが、業績に反映されるほど好転はしてはいない。	
□	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・売上は前年比で82%と厳しい状況が続いている。新しい洋服の需要減少と、外出自粛による来客数の減少が影響している。	

□	乗用車販売業 (営業担当)	販売量の動き	・3月末頃から販売台数は増加していないが、来客数は徐々に増加している。
□	その他小売 [ショッピング センター] (副 支配人)	来客数の動き	・都市部の緊急事態宣言が解除され、少しずつ客足が戻りつつあるが、新型コロナウイルス発生以前の水準には到底及ばない。
□	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・焼き肉店は気安く利用しにくい面があるため、コロナ禍で短時間や少人数を推奨される状況では利用先として選択されにくいのではないかと懸念している。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・飲み屋が時短営業をしているため、依然として夜は仕事が少ない状態が続いている。また、例年この時期はお遍路の客が訪れるが、今年はほとんどがキャンセルとなっている。
□	競輪競馬 (マ ネージャー)	お客様の様子	・ワクチン接種が開始されているが、進捗状況が芳しくなく、先行きが不透明であるため、消費者の動向も慎重になっている。
□	設計事務所 (所 長)	競争相手の様子	・公共事業の入札で、低価格の入札が増加している。
▲	商店街 (代表 者)	お客様の様子	・依然として新型コロナウイルスの影響で、夜の店の営業が厳しい状況にあると感じる。団体客の動きが全く再開されておらず苦戦が続いている状況である。
▲	商店街 (代表 者)	それ以外	・市の駅前再開発事業で県外大手資本を呼び込み、地元商店街は壊滅的な被害を受けた。しかし、僅か30年で全面撤退したため、その後の再生計画は統一感のない空きスペースへの店舗充当が進んでいる。
▲	スーパー (店 長)	来客数の動き	・コロナ禍で客の来店頻度が減少している。
▲	スーパー (財務 担当)	単価の動き	・外食への回帰で中食需要が少し減少しており、客単価が低下傾向にある。
▲	家電量販店 (店 員)	来客数の動き	・買換え需要が一巡し、来客数が減少している。
▲	家電量販店 (副 店長)	販売量の動き	・早めの梅雨入りの影響もあり、季節商材の動きが悪い。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車受注状況が前年比90%程度に減少する見込みである。
▲	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・当地域は新型コロナウイルスの特別警戒期となっており、来客数が極端に減少している。消費者マインドがここに来てまた急激に冷え込んでいるように感じる。
▲	美容室 (経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための自粛で来客数が伸びない。
×	百貨店 (営業管 理担当)	来客数の動き	・来客数が3割程度減少している。
×	コンビニ (店 長)	来客数の動き	・来客数の減少に歯止めが掛からない。週末のイベントやスポーツ大会も徐々に始まっているが、一向に改善がみられない。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・当地域は新型コロナウイルスの特別警戒期となっており、飲食店や居酒屋、スナック等が時短営業を行っている影響で、乗車率がふだんの3分の1という状況である。
◎	繊維工業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・都心の観光地の小売店は人出が戻らず厳しい状況が続いているが、地方の小売店や海外、ネット販売は順調で、年間売上は前年に近い数字であった。期初である6月の売上は前年を上回っており、引き続き好調に推移している。
○	木材木製品製造 業 (営業部長)	受注量や販売量 の動き	・受注量は若干ではあるが回復傾向にある。また、住宅着工数も伸びてきており、回復の兆しが見え始めている。
○	鉄鋼業 (総務部 長)	受注量や販売量 の動き	・販売量は最低の状態が続いているが、受注案件が少し増加傾向にある。

企業
動向
関連
(四国)

	○	建設業（経営者）	それ以外	・業界の景況については、公共事業の増加により売上、利益共に堅調で、総じて悪くはない。課題は新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う事業活動や生活活動の停滞、自粛ムードからの回復である。当地域においては、新規感染者数が減少し、警戒アラートの解除が宣言されたため、以前と比べ景況感が改善されてきていると感じる。
	○	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除に対する期待感やワクチン接種の開始を受け、6月中旬頃より低迷が続いていた取扱物量に少し上向きの兆候がみられるようになってきた。
	○	税理士事務所	取引先の様子	・新型コロナウイルス発生以前の数値に戻りつつある。
	□	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・例年になく早い梅雨入り等の天候要因から、例年と比べ市場入荷量は少なく、卸売価格の単価は前年を上回っている。しかし、数量が10～20%少ないにもかかわらず、単価は5%程度しか上回らないなど、消費に力強さはみられず、価格をけん引していた業務需要の不振の影響が大きく出ている。
	□	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・ワクチン接種が始まり、徐々に新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きつつあるが、都市部では第5波の懸念もあるため、全体的な景気回復はもう少し時間が掛かると思う。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・本格的な需要回復の時期は不透明である。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍でも一定数の仕事は確保しているが、多くもなく少なくもないという状況である。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・官民の両方で受注が伸びない。
	□	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・都市部の大企業を中心に、嗜好飲料や新型コロナウイルス対策グッズ等の広告投下が好調に推移している。
	▲	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・ワクチンを保管する保冷庫の需要が落ち着き、一過性の特需による注文が減少した。
	▲	輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・海外向け出荷量については変化はないが、国内向け出荷量については引き続き減少傾向にある。
	×	*	*	*
雇用 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・ワクチン接種の場が学校や職場まで拡大され、着々と集団免疫の獲得に向けた環境整備が進んでいる。新型コロナウイルスに関する自粛要請が全て解除されたわけではないが、東京オリンピックの開催ムードも高まり、徐々に景気が回復している。
	□	職業安定所（求人開発）	採用者数の動き	・求人数が減少したにもかかわらず、就職件数が増加している。求人充足率も3ポイント上がっており、景気が悪化の一途をたどっているわけではないと思う。
	□	民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・依然として新型コロナウイルスの影響が大きく、求人数は低迷しているが、前年の同時期と比べると少し上向きに感じる。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数の動きが、新型コロナウイルス発生前の水準まで回復していない。県によっては、求人数の落ち込みが特に激しいところもある。
	▲	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・周辺企業の前年度の決算状況が発表されつつあるが、一部業界を除いて軒並み利益は下がっている。建設業界や介護福祉業界などの慢性的な人手不足の業界では採用活動が活発になっているが、人材の確保には苦戦している。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、県内の広告主は軒並み動きが鈍くなっている。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・製造業等で求人数が減少している。また、サービス業での派遣の依頼も少なく悪化している。